

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	リージョン・ソリッド	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.500	△RG	0.046	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：リージョン・ソリッド**

フレアーの幅  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

PAPからピンとの距離  5 インチ

番

**比較対照ボール：リージョン**

フレアーの幅  インチ

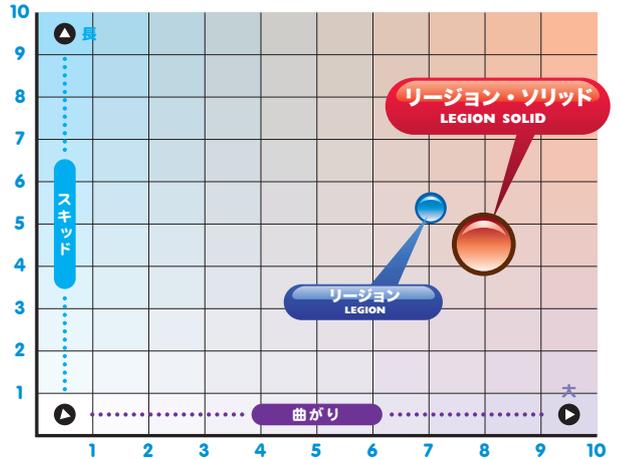
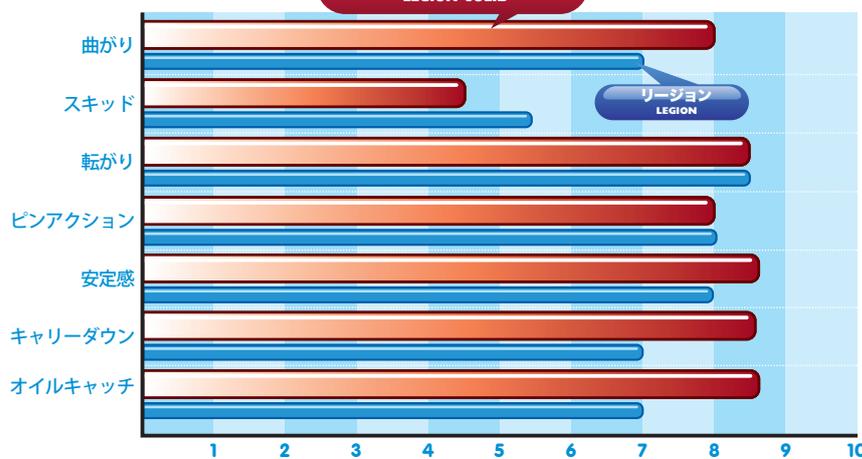
表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

PAPからピンとの距離  5 インチ

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

**ボールの評価**

今回ご紹介するTRACK社最新作はLEGION SOLID。前回発売されたLEGIONのpower up versionです。LT-2CoreとMRCoverstockとの組み合わせですが、今回はネーミングにもあるとおりにシンプルにSolid Reactiveを搭載しています。ただ単にSolid Reactiveだけの変更と思われる方も多いと思いますが、オイルキャッチ、Ballmotion、ピンアクションに至るまで新たな息吹を感じさせるボールに仕上がっています。

投球したイメージは”ピンあたりが柔らかく、絡むアクションをするボール”という印象を受けました。というのもTRACK社はPARADOX発売以降、オイルキャッチとピンアクション向上に様々な試みを実施していて、ABSボール開発チームがテストングするボールにも随所にその傾向がみられるようになりました。詳細をしらないうちのテストングで、その類のボールと勘違いしたほど、そのピンを倒すポテンシャルを高く感じたボールです。そして摩擦させ過ぎない分布のMedium ResponseのSolid Reactive Coverstockがパワーと曲りを相殺させない、曲がる為のブレーキとピンヒットまでのパワーを持続できることがバランスよくこのボールには組み込まれています。私が初めに感じたピンアクションの良さはCoverstockとコアテクノロジー双方のバランスがそうさせているのだと思います。PARADOXまでキャッチではなく、同じような曲がり方でその次に使うボールを探している方はこのボールは非常に利便性が高いでしょう。

Brack Solidカラーは見た目にも重厚感とシンプルな色合いの中にも独特な表現性を持ち合わせていて、MultiCollarが多く発売される中、転がり感などを気にする方はこのようなボールを選択されるのも良いでしょう。

**特記事項**

随所に新しいテクノロジーが見え隠れしてきた注目度の高いTRACK社から発売されるLEGION SOLID。スポーティーなコンディションからフランチャイズのコンディションまで利便性の高いボールです。